



<インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

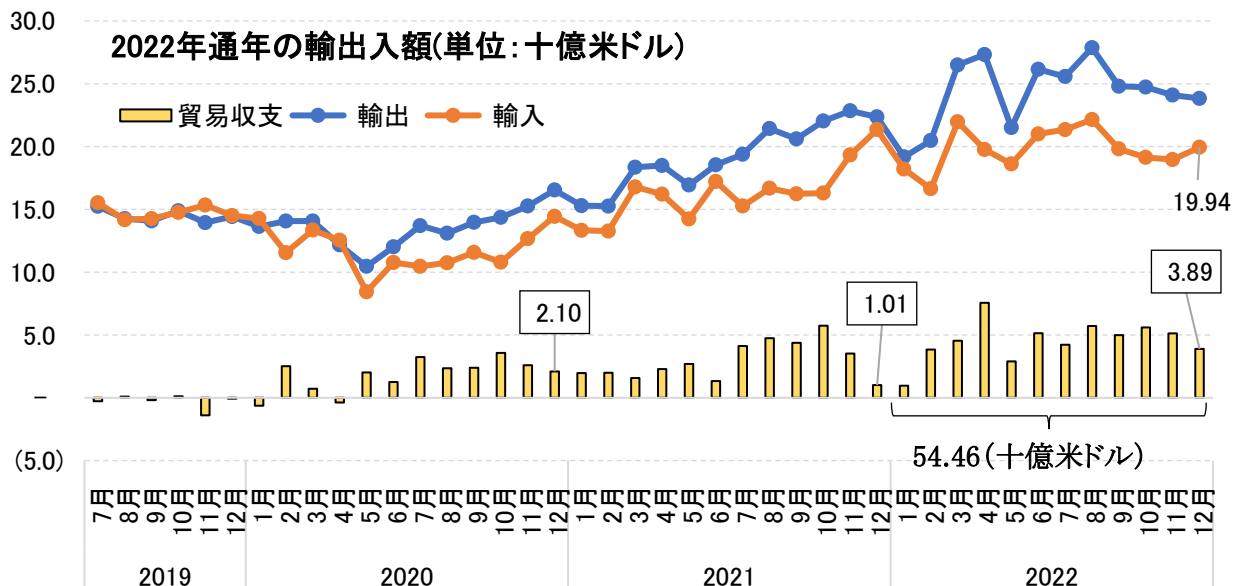
2023年02月24日

2022年の貿易黒字は544.6億米ドルと記録的水準

インドネシア中央統計局(BPS)によれば、2022年通年の輸出額は前年同期比+26.1%の2,919.8億米ドルに達した。石油製品が約+30.8%、非石油・ガスが約+25.8%の伸び率だった。高い伸び率の背景として、①石炭・天然ガス・ニッケルといった、インドネシアの主要輸出品目の価格が上昇したこと、②新型コロナ禍からの世界経済の回復に伴って、海外からの同国生産品目への需要が強力に回復したこと、などが挙げられる。

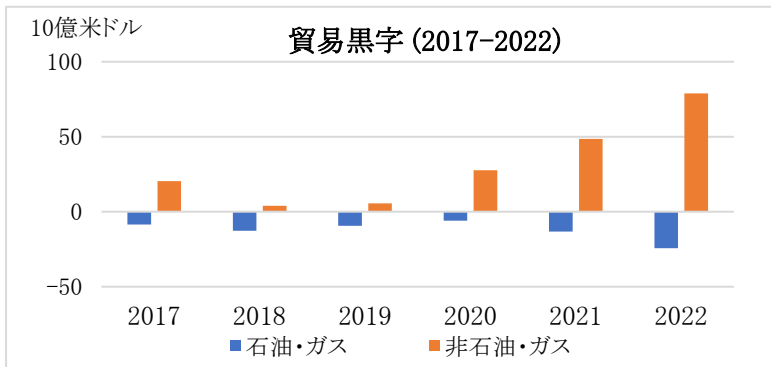
品目別にみると、ニッケルとその製品が前年比+365.4%の59.8億米ドルと、品目別伸び率で最高となった。電気自動車向けのバッテリー需要が伸びていることが要因である。鉱物燃料の輸出額は前年比+67.5%の549.8億米ドルであり、全輸出額の約20%を占めた。

一方、2022通年の輸入額は前年比+21.1%の2,375.2億米ドルとなった。そのうち石油・ガスの輸入額は404.2億米ドル(前年比+58.3%)、非石油・ガスは1,971.1億米ドル(同+15.5%)であった。品目別では、自動車とその部品が前年比+41.7%の95億米ドルという高い伸び率を示しており、最大の構成比率(5.6%)となった。プラスチックと関連部品は、前年比+9.2%の111.2億米ドルであった。



出所: インドネシアの投資調整庁(BKPM)

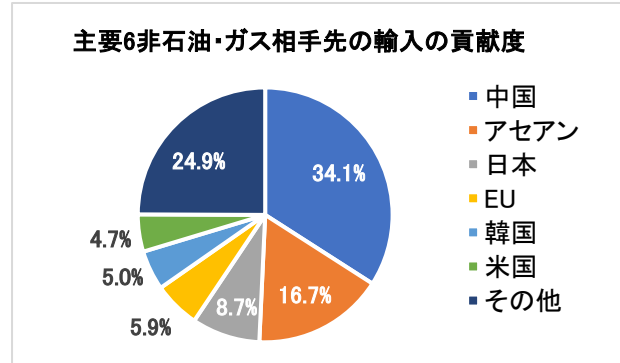
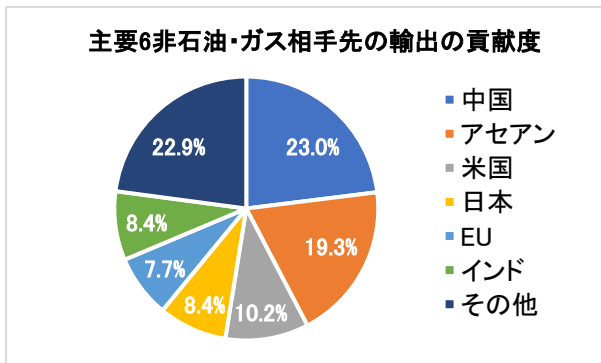
当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



2022 通年の貿易黒字は前年比+53.7%の 544.6 億米ドルを記録した。特に、非石油・ガスの黒字拡大が顕著だった。

出所:インドネシア中央統計局(BPS)

主要輸出相手先としては、中国の1位(635.5 億米ドル)に次いで、アセアン、米国、インド、日本、欧州連合の順となっている。輸入先としては、中国が圧倒的な 1 位となり、アセアン、日本、欧州連合の順となっている。



出所:インドネシア中央統計局(BPS)

インドネシア政府は 2023 年の輸出伸び率を+12.8%、輸入伸び率を+14.9%と予想している。同国が 2023 年にアセアンの議長国に就いたという好機を活用して、アセアン域内での貿易の進展に優先的に注力していく方針である。

以上